

一乗小学校 環境学習プログラム学校訪問 結果報告書

[日 時] 令和5年10月6日(金) 10:00~11:10

[出席者] (1) 学校側出席者 一乗小学校校長、教頭、公民館長
(2) 市側出席者 福井市環境学習プログラム学校訪問員1名、
福井市学校教育課職員1名、環境政策課職員2名

[訪問内容] ・福井市環境学習プログラムにかかる取組の確認
・足羽山どんぐりプロジェクトの実施

[講 評] ※ESDのポイントを踏まえ取り組まれているかを中心に講評しています。

<能力・態度>

批判的に考える力	①
未来を予測して計画を立てる力	②
多面的・総合的に考える力	③
コミュニケーションを行う力	④
他者と協力する態度	⑤
つながりを尊重する態度	⑥
進んで参加する態度	⑦

<概念>

多様性	①
相互性	②
有限性	③
公平性	④
連携性	⑤
責任性	⑥

概念を理解するために必要な(身につけるべき)能力・態度

I	環境の取組	能力・態度	概念
	<<環境学習>> ・一乗地区の自然環境について、総合的な学習の時間を使って学習します。 ・総合の時間だけでなく、教科の学習の中でも、環境やSDGsを意識した学びを行います。	①、②、③、⑤、⑦	①、②、③、⑤
		所感 学校訪問当日、最初に環境学習への全体的な取り組みについて、予めオリジナルの資料を準備して担当教員から丁寧に説明してくれたことで、その熱意が伝わるとともにとても理解しやすかったことに感謝したい。 その後、1・2年生を対象に、市職員から、屋内での口頭説明とDVD視聴により「どんぐりプロジェクト」の趣旨や意義を理解させたうえで、玄関前にて全員(5名)にどんぐり種子のポットへの植え付け作業(一人あたり4ポット)をしてもらった。 1・2年生ということで児童たちには難しかったことと思うが、講師の説明を真剣に聞き、その後、丁寧	

		にポットへのどんぐり種子植え付け作業をしてくれたことにとても感心した。	
Ⅱ	環境の取組	能力・態度	概念
	「ごみの分別・資源回収」	②、④、⑤、⑦	③、⑤、⑥
	・ 教室内であまったチラシなどは1ヵ所にまとめて、資源回収に持ち込みます。 ・ 保護者や地域の人と連携して、古紙やアルミ缶の回収を行います。	所感 地味な活動であり、ともすればマンネリ化しやすい分野ですが、とても基本的で重要なことであり、今後とも継続的に取り組んでほしいと思う。	
Ⅲ	環境の取組	能力・態度	概念
	「学びの発信」	③、④、⑤、⑥、⑦	②、④、⑤、⑥
	・ 保護者や地域の人が見学する「一乗ひろば」で、これまでの環境についての学びや自分たちの取り組み、お願いしたいこと等を発表する。 ・ その場の発表だけでなく、ポスターやデータをまとめた映像を使って、多くの人に向けて発信する。	所感 学びなど情報の発信を章立てした実施計画書は珍しく、とても素晴らしい視点だと思う。 とくに、「一乗ひろば」や「福井県緑の少年団活動発表大会」など児童たちの成果発表の場を幅広く模索・設定していることは高く評価したい。 指導に当たる先生方や関係者の方々の負担は大きいと思うが、今後ともこうした取り組みの継続・発展を期待している。	
Ⅳ	その他の所感		
	学校訪問時には、終始、宮本校長・酒井教諭・小林公民館長が熱心に一乗小学校の環境への取り組みを説明され、またこちらの話を熱心に聞いてくれる姿勢が印象に残った。 在籍児童数 23 名という小規模校であることをメリットとして、公民館をはじめとする地域との連携・協働が進んでいることがよく伝わってきており、今後ともこうした取り組みの継続・発展を期待している。 また、どんぐりプロジェクトの一環として行っている、今回の児童によるどんぐり種子の植え付けは、児童間の発芽率競争を目的とするわけではなく、水やり等適切に管理しても、すべてが発芽するわけではないので、その結果の受け止め方（これが自然の摂理であることなど）について、児童に適切に指導・対応してほしいと思う。 最後に欲張りな希望を述べさせてもらいますと、訪問時、ちょうど3・4年生の児童は、外来植物（セイタカアワダチソウ）の駆除活動を行っていました。とても難しいことですが、今後、在来生物と外来生物の関係にも関心を持ってもらうことを期待しています。		

[訪問の様子]

